

目次

まえがき

1. 平成 20 年度の研究成果	1
1.1 地球温暖化対策に関する研究.....	3
1) 街路樹の植栽及び維持管理における CO ₂ 排出量推計に関する調査 【技術研究開発調査費】	5
2) 都市緑化樹木の CO ₂ ストック変化量把握に関する研究 【都市公園事業調査費】	7
1.2 環境影響評価の技術支援に関する研究	9
3) DNA を用いた生息地分断影響予測モデルに関する研究 【試験研究費】	11
4) 動植物・生態系分野の環境保全措置と事後調査手法に関する調査 【地方整備局等依頼経費】	15
1.3 外来生物等への的確な対応に関する研究	19
5) 地域生態系保全のための緑化技術の開発 【都市公園事業調査費】	21
6) 道路緑地の設計手法に関する研究 【道路調査費】	25
7) 特定外来生物の代替植生に関する調査 【地方整備局等依頼経費】	27
8) 外来種対策に対応した法面緑化工法の確立に関する調査 【地方整備局等依頼経費】	33
1.4 景観の保全と再生に関する研究	37
9) 隣接施設・街路等と連携した都市公園の整備・管理に関する研究 【都市公園事業調査費】	39
10) 歴史的風致形成に資する建造物等の保全・活用方策に関する研究 【都市公園事業調査費】	43
11) 河川総合開発事業における景観評価構造分析調査 【河川総合開発事業調査費】	45
12) 景観形成の事業間連携方策・評価検討 【地方整備局等依頼経費】	49

1.5 美しい街路景観の形成に関する研究.....	51
13) 景観重要樹木の管理指針の策定に関する研究	
【都市公園事業調査費】	53
14) 樹木の根上対策に関する調査	
【地方整備局等依頼経費】	59
15) 台風による倒木被害対策に関する調査	
【地方整備局等依頼経費】	65
2. 発表論文等 ※	67
2.1 論文	69
1) 多摩丘陵および関東山地における非飛翔性哺乳類の種組成に対する 森林の孤立化の影響	71
2) クロバナエンジュ (<i>Amorpha fruticosa</i> L.) が優占する法面の 植生管理技術の検討	80
3) Current status of the Northern Goshawk <i>Accipiter gentilis</i> in Japan based on mitochondrial DNA	86
4) 歴史的街路の印象に与える緑の導入効果に関する研究	100
5) 湿潤な切土法面における堅果類を用いた播種工の成果の評価	112
6) 国営武蔵丘陵森林公園において 36 年間に生じた森林植生の変化と 管理及び地形の関係	120
7) 木曾川におけるオオキンケイギク優占群落での礫河原植生復元のための 植生管理の効果	126
2.2 学会・シンポジウム要旨	133
8) 景観行政推進に必要とされる研究課題について	135
9) 識名園の景観に関する研究 一大琉球の演出—	139
10) 公共事業の景観向上効果に関する考察	141
11) 景観デザイン規範事例集の作成	151
12) 歴史的街路の印象を演出する緑の導入手法に関する研究.....	161
2.3 雑誌・特集記事等	169
13) 韓国景観事情	171
14) 都市緑化樹木の CO ₂ ストック変化量把握に関する研究	172
15) 街路の景観	176

16) 赤外線センサーカメラを用いた野生哺乳類の分布調査 (生きもの技術ノート No. 59)	190
17) 都市緑化樹木の CO ₂ 固定量把握手法に関する検討	191
18) わが国の街路樹の動向～2007年全国道路緑化樹木現況調査の結果から～	195
19) 巨樹・老樹の保全対策手法—景観重要樹木の管理指針策定を目的として	201
20) Tree Decay Diagnosis System Using Gamma (γ) Rays	207
21) 緑化植物 ど・こ・ま・で・き・わ・め・る オオキンケイギク (<i>Coreopsis lanceolata</i> L.)	210
2.4 出典	211
参考資料 (既刊資料一覧)	215

※第2章に掲載した論文等は各団体から転載の許可を得て掲載しております。

なお、著作権は各団体に帰属するため、転載を禁じます。